

令和4年度 障害者週間記念イベントを開催しました。

令和4年12月9日

仙台市宮城野障害者福祉センター

去る令和4年12月3日（土）～9日（金）に仙台市宮城野障害者福祉センターにおいて、障害者週間記念イベントを開催しました。

令和4年12月3日（土）～9日（金）に「障害者のミニ作品展」を開催しました。当センターに通所されている利用者の方々が製作した書道、絵画、ハーバリウム、手芸などの盛りだくさんの作品が並べられ、1階ロビーを彩りました。

また、令和4年12月3日（土）には午前「七宝焼きでキーホルダーを作ろう！教室」、午後には「みやぎのコンサート～アコーディオによるクリスマスコンサート～」を開催しました。「七宝焼きでキーホルダーを作ろう！教室」では、当センター自立訓練事業の創作教室の講師である赤間直美先生をお招きし、キーホルダーに七宝焼きの釉薬を付けて焼き上げた物が出来上がりました。当日は7名の方にご参加いただきました。参加された皆様からは「釉薬と透明フリット・不透明フリット絵具が沢山あり、選んで作れてとても楽しかった。」「またやりたい。」等、好評の声を頂きました。同じ材料を使っても配置などで参加者の個性が表れ、互いに作品を見ながら話す姿も見られ、創作を通じた参加者同士の交流を図ることができました。

午後からの「みやぎのコンサート」でジャズフェスティバルや老人ホーム等でも演奏されている「フレンズドリーム」さんに、アコーディオンを用いた演奏を披露いただきました。来場者28名と、多くの皆様に来場いただき、アコーディオンの音色が会場全体に響きわたる素敵なコンサートとなりました。おしゃべりトークと演奏披露のほか、後半は来場されたお客様とアコーディオンの楽器に合わせて歌を口ずさんでいるお客様も見られました。参加された皆様からは「懐メロやジブリ、ちょんまげメドレーなどが良かった。」また、終盤には東日本大震災でも勇気づけられた「花は咲く」が、アンコールされました。最後の曲としてフレンズドリームより「ありがとう」の曲で締めくくり、多くの皆様にコンサートを盛り上げていただき、笑顔あふれるにぎやかなコンサートとなりました。

今後も障害者週間にとどまらず、障害のある方の社会参加への意欲を高めること、障害や障害のある方に対する理解を深めること、そして、障害の有無にかかわらず、誰もが尊重し支え合う社会を目指して、センター事業の企画に努めていきます。



↑ミニ作品展の様子。
たくさんの作品が展示されました。



↑みやぎのコンサートの様子。
皆さんきれいな音色に耳を傾けていました。



↑七宝焼きでキーホルダーを作ろう！
教室の様子。一人一人個性あふれる作品
を作りました。